



岐阜いのちの電話

電話相談員養成講座へのお誘い 第26期(2025年)募集要項

① いのちの電話とは

私たちは生きていくなかで、さまざまな困難をかかえて悩み、苦しみ、生きる力を失ってしまうことがあります。そんな時の緊急の避難先がいのちの電話です。「いのちの電話」は、そんな苦しんでいる人の言葉に耳を傾け心を通わせ生きる力を取り戻されることを願って毎日活動しています。

「いのちの電話」は全国50センターで、日本いのちの電話連盟を組織して各地で活動しています。

② 岐阜いのちの電話協会とは


- ★自殺予防をその使命の第一として、1998年5月に開局しました。
- ★現在約50名のボランティア相談員が毎日電話相談を行っています。
- ★2010年10月からインターネットによる相談も受け付けています。

③ いのちの電話相談員とは

- ★相談員になるには、約1年の研修を終了し、認定される必要があります。
- ★相談員は責任を持って活動していただくボランティアであり、認定後も継続して研修に参加していただきます。
- ★相談員は電話相談にあたるほか、募金・広報活動などNPO法人岐阜いのちの電話活動全般に参加していただくことが期待されます。
- ★いのちの電話の活動は無償のボランティア活動です。交通費、研修費なども自己負担を原則としています。
- ★電話相談員の経験を経てインターネット相談員の研修を受けることができます。

あなたもこのボランティア活動に加わって、ともに学びつつ、
受話器をとるひとりになりませんか。ご応募をお待ちしています。

主催：特定非営利活動法人岐阜いのちの電話協会

岐阜いのちの電話 

<https://gifu-inochi.com>

第26期 電話相談員養成講座申込書

(記入日 月 日)

ふりがな 氏名：		年齢 歳 (記入日現在)	手持ちのスナップで結構です。 写真を貼ってください。 (6ヶ月以内のもの)
住所：〒 -			
TEL/FAX： E-mail：		携帯番号：	
職業：	緊急連絡先(ご本人以外) お名前： TEL：		
家族構成(おさしつかえない範囲でご記入ください。)			
氏名	続柄	年齢	(備考)
「いのちの電話」を何で知りましたか 新聞(新聞) ・ 広報誌 ・ ホームページ ・ テレビ ・ 知人 ・ 当会リーフレット その他() 紹介者(さん)			
カウンセリングの経験・研修・訓練などの経験がありましたら、なるべく具体的にお書きください。			
ボランティアの経験がありましたらお書きください。			
その他自由にお書きください。			

※この情報は電話相談員養成講座以外に外部に提供することはありません。

事務局受付 No. _____ 月 日

第26期電話相談員養成講座の概要

期 間：2025年6月から12月

日 時：原則土曜日もしくは日曜日午後(「日程と内容」の欄参照)

会 場：原則、OKB ふれあい会館(岐阜市藪田南5丁目14番53号)を利用します。

受講資格：1. 「いのちの電話」の趣旨に賛同し、「岐阜いのちの電話」の相談活動(月2回午後7時から10時等)に参加できる方(性別・年齢・学歴などは問いません)
2. 講座のほぼ全日程出席できる方

募集人数：定員25名程度

受講料：前期13,000円 後期13,000円
それぞれ講座初日までに振り込みください。
(受講料には資料代・食事代を含みます。)
受講料納入後は受講を辞退・中断されても返却しかねます。

事前説明会：オンライン 4月5日(土) 19時～20時
5月6日(火) 19時～20時
※メールでお申し込みください。
会 場 4月13日(日) 10時～11時 OKB ふれあい会館403号室
(電話、メールでお申し込みください。)

必要書類：1. 「講座申込書」(左頁コピー可)
2. 作文「相談員養成講座受講の動機について」400字×2枚程度
(上記書類の記載内容に関して個人の秘密を厳守します。)

申込手続：申込み〆切期日までに上記書類(講座申込書、作文)を下記へ郵送してください。

申込〆切：第1次〆切 4月30日(水)
第2次〆切 5月20日(火) 当日消印有効

面 談：5月25日(日) 9時30分～12時 OKB ふれあい会館405号室

申込書類送付先：〒500-8387
岐阜藪田簡易郵便局 局留 岐阜いのちの電話協会

問合せ先：事務局電話 058-273-5387(平日午前) FAX 058-201-1922
Eメール sec@gifu-inochi.com

この要項はホームページでもご覧いただけます。 [岐阜いのちの電話](https://gifu-inochi.com)  <https://gifu-inochi.com>

そ の 他：1. 後期開始(10月4日)までに作文「わたしの生い立ち」(A4用紙400字×3～5枚程度)を提出していただきます。
2. 2026年1月から6月までの間に実習とスーパービジョンを受けていただきます。
3. いのちの電話相談員としての認定は総合評価によって2026年7月頃行います。
4. 前期、後期のワンディ研修は原則として出席していただきます。

《養成講座の日程と内容》

【前期】

月日(曜日)・時間		講座内容・講師 スタッフなど
6/7 (土)	13:20～14:00	「開講式・オリエンテーション」
	14:10～16:30	「講座の概要説明・いのちの電話の基本線」 兼田 智彦(社会福祉法人たんぼぼハウス施設長・当協会理事)
6/28 (土)	13:20～14:50	「自殺予防(青少年・事例を含めて)」 岐阜県精神保健福祉センター
	15:00～16:30	「出会いとコミュニケーション(体験学習)」 山本 秀樹(NPO法人CAPNA理事)
7/5 (土)	13:20～14:50	「セクシュアリティと人権」 三尾 美紀("人間と性"教育文化センター・当協会理事)
	15:00～16:30	「傾聴・ロールプレイ1」 兼田 智彦(社会福祉法人たんぼぼハウス施設長・当協会理事)
7/20 (日) ワンディ	10:00～11:30	「相談を受けるということ」 杉田 憲夫(天外クリニック・当協会理事長)
	11:30～13:00	「昼食と仲間づくり」 兼田 智彦(社会福祉法人たんぼぼハウス施設長・当協会理事)
	13:20～14:50	「精神障がい者の生活と支援」 庭野 智美(訪問看護師)
	15:00～16:30	「傾聴・ロールプレイ2」 兼田 智彦(社会福祉法人たんぼぼハウス施設長・当協会理事)
8/2 (土)	13:20～14:50	「今日における人権問題」 田島 朋美(弁護士)
	15:00～16:30	「人間関係トレーニング」 山本 秀樹(NPO法人CAPNA理事)
8/23 (土)	13:20～14:50	「大人の発達障害」 竹村 忠憲(中部学院大学講師・精神保健福祉士)
	15:00～16:30	「自殺予防と電話相談」 高木 総平(中部学院大学教授・当協会理事)
9/6 (土)	13:20～14:50	「女性への暴力と人権」 片桐 妙子(NPO手を繋ぐ女たちの会理事)
	15:00～16:30	「ホスピスにおける生と死」 西村 幸祐(岐北厚生病院)
9/20 (土) ワンディ	10:00～11:30	「ブラインドウォーク」 山本 秀樹(NPO法人CAPNA理事)
	12:30～15:40	「傾聴・ロールプレイ3/4」 兼田 智彦(社会福祉法人たんぼぼハウス施設長・当協会理事)
	16:00～16:30	「事例録音①」 兼田 智彦(社会福祉法人たんぼぼハウス施設長・当協会理事)

【後期】

月日(曜日)・時間		講座内容・講師 スタッフなど
10/4 (土)	13:20～14:50	「虐待・トラウマ※虐待事例も含めて」 榊原 信子(東海学院大学講師)
	15:00～16:30	「電話相談の実際」 高木 総平(中部学院大学教授・当協会理事)
10/19 (日)	13:20～14:50	「自死遺族に寄り添う」 木下 宏明(千の風の会代表)
	15:00～16:30	「事例検討1」 当協会研修スタッフ
11/8 (土)	13:20～14:50	「精神障がい当事者のお話」 当事者
	15:00～16:30	「傾聴・ロールプレイ5・事例録音②」 兼田 智彦(社会福祉法人たんぼぼハウス施設長・当協会理事)
11/30 (日) ワンディ	10:00～16:30	「先輩の体験談」 相談員
		「電話相談と危機介入」 兼田 智彦(社会福祉法人たんぼぼハウス施設長・当協会理事)
		「事例検討2」 当協会研修スタッフ
12/7 (日)	13:20～18:00	「修了式」 杉田 憲夫(当協会理事長)
		「電話相談実習について・フォロワーとの面談」
		「センターでの説明」

※研修日程は参加人数等により追加等する場合があります。